



効果的な熱中症対策の実施に向けた実証実験について

本市では、熱中症予防啓発事業や熱中症リスク評価を実施し、継続的に熱中症対策に取り組むため、浜松市、事業者、市民等が一体となった熱中症対策に係る取組を実施しています。

中でも、浜松市消防局では、気温が上昇する6月～9月において、活動する隊員の熱中症を予防するため、暑熱順化訓練実施するとともに、保冷ベスト着用や水分補給管理等の労務管理を実施しています。この労務管理を効果的に実施するため、「熱中対策ウォッチ カナリア」を活用して、隊員の体調管理の効率化を目的とした実証実験を実施します。

今回の実証実験は、浜松市消防局の労務管理の効率化と効果的な熱中症予防対策の実現に向けたデータの収集等と、企業の製品ラインナップ拡充に向けたデータ収集の目的が合致したため、実施することとなりました。さらに、浜松市の各部署において取り組んでいる熱中症対策の検証に今回の実験結果を反映させることで、浜松市の熱中症対策を強化していきます。

■実施概要

- ・実験名称：熱中症対策の実証実験
- ・実施期間：令和5年7月3日（月）～令和5年9月29日（金）（予定）
- ・実施概要：訓練等で活動する消防職員にウェアラブルデバイスを着用して活動中の体温データを取得し、活動時の熱中症リスクの把握と対応を検証する。
ウェアラブルデバイスは、企業から40個無償貸与され、期間終了後に返却する。

■参加企業

Biodata Bank 株式会社（バイオデータバンク株式会社）

本社：東京都渋谷区、代表取締役：安才 武志、設立：2018年4月

2018年に創業し、世界初となる非侵襲で深部体温を推定する技術を開発。

深部体温は人間の状態を検知するのに非常に重要な指標となりますが、これまでは体内に温度計を入れて測る方法しかありませんでした。

Biodata Bankの特許技術で、体の表面から深部体温を推測することが可能となり、独自の技術を活用し熱中症リスクを検知するウェアラブルデバイス「熱中対策ウォッチカナリア」を展開しております。

【2023年実績】

- ・国土交通省 NETIS にて最高ランク「VE 評価」に認定
NETIS での活用効果調査件数が 491 件となり（2023年6月時点）、登録技術 2,910 件の中で 6 番目（熱中症対策分野では第 1 位）の活用効果調査件数となったことで、これまでの実績が評価され最高ランク「-VE」に認定されました。
- ※「-VE」とは：国土交通省より有用技術と認定された証であり、施工完了後だけでなく入札時にも加点される場合があります。

■ 実証実験等の取材について

- ・実験の詳細については、警防課にご連絡をいただき、日程調整を行ってください。
- ・本市の適応策に関するお問い合わせは、カーボンニュートラル推進事業本部にご連絡ください。
- ・企業に関するお問い合わせは、はままつ首都圏ビジネス情報センターにお願いします。

【問い合わせ先】

浜松市消防局警防課 TEL 053-475-7531 / FAX 053-475-7539

E-mail : hfdkeibo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

カーボンニュートラル推進事業本部 TEL 053-457-2502

E-mail : ene@city.hamamatsu.shizuoka.jp

はままつ首都圏ビジネス情報センター TEL 03-3556-2788

E-mail : hama-business@city.hamamatsu.shizuoka.jp